

総合科学の基礎C
哲学思想の基礎

2018/06/01
理解し考える力

理性は対話の中で育つ

- 十分な情報を得ること、その情報から妥当な価値判断をすること、別な立場や見方からの情報を得ることによって理性(思考力)は育つ。
 - 近代哲学における理性(Reason)=理由をつけて推論する力。計算能力。
 - アリストテレス以来の「知性Intellect」: 何を推論すべきかを判断する能力を含む。
 - 近代哲学における「知性と理性の逆転」

訳語の混乱

ギリシア語	ヌース Noûς	ロゴス Λόγος	アイステーシス Αἴσθησις
日本語訳	理性 知性	理性 論理	感覚 (知覚)
ラテン語	インテレクトゥス Intellectus	ラチオ Ratio	センスス Sensus
日本語訳	知性	理性	感覚
英語	Understanding	Reason	Sensation
日本語訳	知性 悟性(カント後)	理性	感覚

そもそもの意味

- ヌース
 - mind (lat. mens←memini=memory)
 - a thought, **purpose, resolve.**
 - the sense or meaning of a word or expression
- 動詞: ノエオー-Noéō
 - to see so as to remark or **discern**, distinguished from merely seeing.
 - to think. to be minded. →to **purpose, intend.**
 - to think out, devise, contrive.
 - to think or deem that a thing is so and so.

- ログス
 - the word by which the inward thought is expressed.
 - the inward thought or reason itself.
- 動詞: レゴー-λέγω
 - to lay, to lay asleep, lull to sleep.
 - to lay in order, arrange. →to gather, pick up.
 - to reckon, count, tell or reckon up.
 - to recount, tell, relate. →to speak, say, utter.

ラテン語

- インテレクトゥス
 - 動詞intel-lego(=「間+選ぶ・読む」): understand / perceive, **discern**, recognize.
- 英語のUnder-stand=「下+立つ」
 - ちなみにギリシア語は、ἐπι-στήμη=「上+立つ」
- ラチオ
 - calculation / explanation / manner, method.
 - 動詞reor: **reckon, calculate** / think, deem, judge.

古代ギリシアにおけるロゴスとヌース

- ロゴス: 説得や論証の手段
 - ソフィスト: 「ロゴスの技術=レトリケー」=説得術
 - 説得できればよいのか? 真理≠説得
 - プラトンのディアレクティケー(弁証術)
 - アリストテレスの「ロギコス」=オルガノン(道具・機械的に作動する演算装置)→Logic(論理学)
- ヌース: 理解し、理解に基づいて何かを作り出す力
 - アナクサゴラス「万物の秩序の原因」
 - アリストテレス: 能動知性と受動知性
 - アラビア哲学: 神の知性と人間の知性
 - トマス・アキナス: 概念を抽象する能動知性

アナクサゴラス(BC.500頃～428頃)

- パルメニデスの「一にして不変の存在」
- アナクサゴラスは、「万物の種子」の混合によって生成変化を説明しようとした。
 - 種子は人間には認識できない。
 - (宇宙ないし神の)「知性」が種子を認識し混合する。

アリストテレスのロゴスとヌース

- ロゴス: 論証(アポデイクシスἀπόδειξις): a showing forth
 - ἀπο=away from, far from / after / of origin of.
 - δειξις←δεικνυμι=to show, point out / to bring to light
 - = 何らかの前提を出発点として論理で前に進む。
- Cf. プラトンのディアレクティケーδιαλεκτική: the art of debating or arguing.
 - δια=through / during / arising from
 - λεκτική←λέγω

- ヌース: 何らかの前提を把握する能力。

- エパゴーゲー(ἐπάγωγῆ)
 - 動詞ἐπάγω: to bring or lead to.
 - ἐπι+ἄγω(lead)→in-duction

→基本的に、外界に対応する受動的なはたらき。

“to see so as to remark or discern.”

= 受動的な知性νοῦς παθητικός

- πάσχω=to suffer or be affected by anything whether good or bad to acting of oneself.

“to purpose, intend.”

- 「作る知性νοῦς ποιητικός」もある?

- ποιέω=to make, produce, execute / to do
- 中世哲学では、「能動知性intellectus agens」と呼ばれる。

今日の宿題

- 授業へのコメントをmanabaで送信。
- 締め切りは6月5日(火)17時。